広報
とくのしま

発行所
場番　治
役1人
町津行　祐
島亀発　喜
之話集　武
徳電編　秋

発刊に際して

町長　秋武喜祐治

戦争の被害の甚大さに依る、奄美住民の後進性を取り戻すために、復興事業が施行されて四年一五二億五ケ年の計画は諸種の事情からして約半分程度しか完成されていない。政府の親心と、住民各位の自立復興の意気の合産は、公共性事業に於いては、或る程度見るべきものあることは実に喜ぶべき事である。

然し内地本土の住民の生活水準に御互の生活を向上させ得る基盤を造る事業に於いては未だに放置されて居る点がある、それを本年総額一八二億、後五ケ年の間に実施計画が変更された事は、過去四年の御互の経験を生かし郷土の現状に即応した予算の活用が出来るといふ点からして喜ぶべき事だと思う、申すまでもなく復興予算の中で直接私達の懐にひゞく事業は、補助プラス地元負担プラス地元住民の熱意で完成されることは衆知の通りである。

去る四月政府の要請に依り御互の行政地域は広くなり御互親交の度は増えて来た。合併は町長は、人間の右足と現在のためでなく将来のためだということは、又車に例え人格体ですから　総てのように、片方の機関がそれぞれの任務を忠実に働くことは議決、片方は執行と目的である基礎的地方公共団体としての　何時も健康で

今日この頃ではよかつたと思う事もあれば困るといふ事もあろうかと思うが、これを一歩前進した生活水準を勝ち取るには何というても、我々が自立経済への足並みを揃える事が最も必要だと思う。多額の合併奏賞がある訳ではなし無批判に融資をして呉れる訳でも固な基盤の確立と、町村合併の真のねらいである、往民福祉の債極的な増進に向つて、執行部と我々議会人が全力を結集して不断の努力を続けることが、最も大切な事だと思いまして、新町村建設計画が、個々の地域の特異性を最高つて、初めて町や国の発展に発揮し二万町民打生々発展も期待出来る一人一人が代表者である。町村の状況を御知らせし広く町民の声を聞かせて頂く機関紙として〃広報と〃くのしま〃が生々発展する為には住民の代表者感の一端を終ります。

合併三月に想う

助役　直島秀良

徳之島の全島を一町とすることを前提としてない事はいふまでも亀津東天城の両町村がない。同時に町民各位合併されたことは全町民のよくご承知の通りである、長年親しみ来たつた我が町我が村に名残り惜しい気持であることは総ての人間社会の情であろう。それがため一まつの淋しさと不安を持つたことと思う。しかし町村の合併はより一層町民の幸福のためでなければならない事はいふまでも亀津東天城の両町村がない。同時に町民各位合併されたことは全町民のよくご承知の通りである、長年親しみ来たつた我が町我が村に寄せていること又論を名残り惜しい気持であまたない。幸に合併当ることは総ての人間社会の情であろう。それがため一まつの淋しさと不安を持つたことと思う。しかし町村の合併はより一層町民の幸福のためでなければならない。同時に町民各位合併されたことは全町民のよくご承知の通りである、長年親しみ来たつた我が町我が村に寄せていること又論を名残り惜しい気持であまたない。幸に合併当ることは総ての人間社会の情であろう。それがため一まつの淋しさと不安を持つたことと思う。しかし町村の合併はより一層町民の幸

初の町長には経験豊かな秋武町長を迎え、こる議団はよりすぐりの手腕家揃いであり、町の発展は期して待つべき

ものありと考えるもの である。合併をしたから負担という問題があるとしてすぐ目の前に経済効果が現われ町民の生活が豊かになるとは考えられない。又考えてもろうことが無理であろう。生活文化の建設は毎日毎日の積み重ねでなくてはならないつて生産の境強ができる経済的に必ず豊かになるも町民も一体となつてる今後の建設に体当りして行く覚悟が必要である。

復興特別措置法によつて行われる諸事業を百％消化するには特別な覚悟が必要である。事業を推行するには自己分担金問題等で幹部が頭を悩ましている向き難問が横たわつている。事業もあるようだが　事業をなしとげることにより経済的に必ず豊かになるのだ。たゆまざる努力を続けることだ。

事業もあり従つて町民の負担も多くなること　これには全町民の理解ある御支援と御協力を御願いする次第である。港湾、河川、防災、営農、環境衛生、消防施設等数えれば限りないのであるが、我々の生活を本土並の水準まで引

政治は生活に結ばれなかり守ることによって愉快で楽しい平和な生活の出来る町つくりに

広報発行に当つて

徳之島町議会議長　大勝官二

とくのしま〃が発刊されない時は片ちんばになり車は使用する事が出来なくなります。人間は　誠に喜ばしい限りであります。議会とにたとえれば　地方自治団体は完全な生きた人格体ですから　総て

十分の働きをすること活の出来る町つくりにのです。この度〃広報が出来、又うまく行かなると思います。

今度町村合併という歴史的旋風の真中に旧亀津町と東天城村が永遠に町村たる姿を　発展に町村たる姿を　発展的に解消し新しく徳之島町として誕生したのである事を痛感し自主復興体制を確立して　諸事業の遂行に万全を期し

かかれば必ずなしとげう。農家の皆さんの一

かかれば必ずなしとげう。農家の皆さんの一

教育委員会から

町広報創刊によせて

戦後我が国の学校教育連用にも幾多改善さるべき点があるのではなかしようか。そもそも教育委員会制度は教育の地方分権化、民主化をはかり併せてその独立性、継続性並びに安定性を確保すること

水稲二期作の栽培についての注意

一、播種期　二期作は生育中の気温関係からぎない様充分注意下さ早く播種して早く植付ける事が必要であるから、七月二十日を標準に一日でも早く播種いたしましょう。

二、品種　次の品種から選定して下さい。

多肥肥よく地　奥羽二〇二号、中庸地、奥羽一号、奄美三号、奄美もち、少肥やせ地　奥羽一八八号、これ以外の品種の栽培は甚だ危険であるから注意下さい。

三　種子　イ、採種　期産の黄熟籾を二日間架干してから脱穀後のむしろ干しの場合は日中の高温時を避けること　ロ、浸種及び催芽、二昼夜浸種後後引上げ一日催芽する。この場合一日一回水を換える事が大切である

四、苗代　構成法一期作収穫跡地を浅くすき起し馬把掛後泥の安定目に申込まれるよう御願いいたします。今年尺溝巾一尺の短冊型揚の徳之島町の要請量は二四五八石となつています。これだけは是非代の肥料は田の肥そう床を作る　ロ、肥料苗は全町民の理解ある御支援と御協力を御願いする次第である。港湾

産業を科学化するのだ頭の中を去来するものは全町民の幸福を願うゆり動かすものがある遊遠の些となげいではならない。我々の努力で本土との巨離を短縮するのだ。台風銀座はが島の宿命とあきらめてはならない。台風の裏をかくのだ。即ち町と東天城村の合併に伴い旧両町村教育委員会もここに合体して徳之島町教育委員会が発足した次第であるが、地方教育行政に携わる

産米の予約申込は

昭和三十三年産米の予約申込を受付けています。この申込は八月五日までに完了いたしたいと思いますから、早目に申込まれるよう御願いいたします。今年の徳之島町の要請量は二四五八石となつています。これだけは是非集荷せねばなりません

たいと決意をいたして居ります。

本町は南北二七、九粁東西一一、四粁に連なる一人一人が代表者であ連携に伴いまして、新り議員になつた心算で個々が立派な町民になつて町の代表者たる自覚と熱意によることは勿論でありますが、町民

朗な町教育行政を心かして待つべきものがあ

興期間中に流れて来る予算を、何倍かに活用しようとする御互の情熱が最も大事な要素と思う。今回広報を発刊するに当り自分を顧みて健全なる徳之島町建設のために諸賢の鞭韃と御支援を多分に必要とすることを痛感致して居ります

何卒町の将来のために遠慮のない御忠言を賜らんことを切に御願い申上げます

たる議員が研修努力し

態度を堅持し以つて明る

ない。頼む所はこの復

ある、往民福祉の債極

的な増進に向つて、執

行部と我々議会人が全

力を結集して不断の努

力を続けることが、最

も大切な事だと思いま

す。特に第二次復興一

八二億改訂計画実施の

保岡代議士や県会議員

支庁長その他多くの来

資を御迎えし郡下町村

議員大会を本町に於て

開催されました事は、

町民の皆様と共に感謝

いたして居ります。御

一行は滞在中島内を充

分に御視察されまして

想像にも及ばない真の

徳の島である事を認識

され、綜合開発の必要

性を強く要望されて居

ります。国の開発振興

という構想のもとに産

業振興施策を重点とし

た恒久的な基盤の確立

を推進して実現されま

うとしている五年目の

段階を迎えまして　今

後にこそ責任の重大な

使命にかんがみ、制度

の改善が加えられたとはいえ　現下内外の情勢と学校教育或

吾々は町教育進展のた

め聊か微力をつくして

参つたと自負して　る

次策であります、本町

委員会が　設置されて

から早くも七年の歳月

を経ましたが、その間

昭和三十一年十月に委

員会法が全面的に改正

されたのであります。

この目的は、前述の効

果を確保しつつ、地方

自治体の長と一層の緊

密なる連携を得て教育

の推進に寄与すること

となつたのであります

尚又本年四月一日亀津

町と東天城村の合併に

伴い旧両町村教育委員

会もここに合体して徳

之島町教育委員会が発

足した次第であるが、

地方教育行政に携わる

ものとして公平無私の

態度を堅持し以つて明る

朗な町教育行政を心かして待つべきものがあ

興期間中に流れて来る予算を、何倍かに活用しようとする御互の情熱が最も大事な要素と思う。今回広報を発刊するに当り自分を顧みて健全なる徳之島町建設のために諸賢の鞭韃と御支援を多分に必要とすることを痛感致して居ります

何卒町の将来のために遠慮のない御忠言を賜らんことを切に御願い申上げます

ない。頼む所はこの復

ある、往民福祉の債極

的な増進に向つて、執

行部と我々議会人が全

力を結集して不断の努

力を続けることが、最

も大切な事だと思いま

す。特に第二次復興一

八二億改訂計画実施の

保岡代議士や県会議員

支庁長その他多くの来

資を御迎えし郡下町村

議員大会を本町に於て

開催されました事は、

町民の皆様と共に感謝

いたして居ります。御

一行は滞在中島内を充

分に御視察されまして

想像にも及ばない真の

徳の島である事を認識

され、綜合開発の必要

性を強く要望されて居

ります。国の開発振興

という構想のもとに産

業振興施策を重点とし

た恒久的な基盤の確立

を推進して実現されま

うとしている五年目の

段階を迎えまして　今

後にこそ責任の重大な

使命にかんがみ、制度

の改善が加えられたとはいえ　現下内外の情勢と学校教育或

吾々は町教育進展のた

め聊か微力をつくして

参つたと自負して　る

次策であります、本町

委員会が　設置されて

から早くも七年の歳月

を経ましたが、その間

昭和三十一年十月に委

員会法が全面的に改正

されたのであります。

この目的は、前述の効

果を確保しつつ、地方

自治体の長と一層の緊

密なる連携を得て教育

の推進に寄与すること

となつたのであります

尚又本年四月一日亀津

町と東天城村の合併に

伴い旧両町村教育委員

会もここに合体して徳

之島町教育委員会が発

足した次第であるが、

地方教育行政に携わる

ものとして公平無私の

高く然して生育が早いです

第三回定例議会

当初予算成立す

六月十二日から七月十三日迄の会期に亙つて定例議会を開催左記の案件を付議それぞれ原案又は修正可決されました。

一、助役選任について
　直島秀良氏決定
一、収入役選任について、勝元行氏決定
一、昭和三十二年度旧亀津町才入才出決算承認について
一、昭和三十二年度旧東天城村才入才出決算承認について、
一、徳之島町固定資産評価審査委員の選任について
一、特別会計（簡易水道事業）の設置について
一、一般林道池田線開設事業施行について
一、一般林道井之川線災害復旧工事について
一、一般林道花徳線開設事業施行について国が示した基本方針に基く徳之島四ケ町村の合併を前提としての段階合併という事となつて

一、昭和三十三年度徳之島町才入才出予算について
一、昭和三十三年度徳之島町特別会計簡易水道事業才入才出予算について
一、徳之島町職員の給与に関する条例の制定について
一、徳之島町職員の旅費に関する条例の制定について
一、徳之島町職員の退職手当に関する条例の制定について
一、徳之島町固定資産評価審査委員の選任について
一、徳之島町職員の給与に関する条例の制定について
一、徳之島町職員の退職手当に関する条例の制定について
一、徳之島町固定資産評価審査委員の選任について
一、徳之島町固定資産評価審査委員の選任について
一、徳之島町固定資産評価審査委員の選任